

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年5月10日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870200896		
法人名	株式会社 クリエイト		
事業所名	グループホーム 久慈浜	ユニット名	1F
所在地	〒319-1222 茨城県日立市久慈町3-4-14		
自己評価作成日	平成22年9月24日	評価結果 市町村受理日	平成23年4月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年11月19日	評価確定日	平成23年4月14日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

庭に、菜園や簡単なパターゴルフをするスペースがあり、天気の良い日は外に出て過ごされます
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所が一つの家庭となり、職員は利用者一人ひとりの個性を大切に、利用者と職員は日々の暮らしを互いに支え合っている。 職員は利用者の居室に使い慣れた物品を持ち込んでもらったり、パターゴルフ場での運動や自家菜園での野菜づくりなどを支援し、今まで馴染んできた生活ができるよう取り組んでいる。
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念3項目を作り、毎朝申し送り時、全員で唱和し、実践している	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、事務室や食堂に掲示して意識付けをしているほか、朝礼などで理念を確認し合い、実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣の神社清掃や地域の祭りに参加。小学校の運動会の見学、小学生が訪問してくれるなど交流している。近隣の飲食店や商店を利用している散歩中など挨拶や会話を交わす	利用者は隣の神社にお参りに行ったり、神社の清掃活動や地域の祭りに参加している。 小学生の訪問や中学生の体験学習を受入れている。 利用者は近隣の飲食店や商店を利用し、地域の一員として日常的に地域の人々と交流している。 事業所で応急手当救命講習を行い、近隣住民にも参加を呼びかけている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	防災訓練時、近隣住民にも声をかけ、いっしょに消火器の取扱い方法を消防署員から学んだり、事業所内で行なう応急手当救命講習に参加していただき、共に学ぶ機会を持っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議事録を作成し、職員全員に周知。必要に応じ会議等で話し合っている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の状況や行事を報告したり、今後の予定などについて話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の事業所懇談会や連絡会に参加し、意見交換をしている 市の職員が運営推進会議に出席している 市の担当課と電話等で報告や相談などを行ない、協力を得ている	市担当者とは電話や訪問により密に連絡を取り合い、連携を図っている。 市内の事業所を対象とした研修会において、市担当者と意見交換などを行い連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ポスター掲示、指針の作成、定期的な研修等により、身体拘束をしないケアの理解に努めている 玄関の施錠に関しては、利用者様の離脱があり、運営推進会議等で話し合ったり、ご家族の了承のもと施錠している。利用者様が外出したい時はいつでも開錠している	職員は身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 利用者に危険な行為が見られた場合でも身体拘束は行わず、カンファレンスで対応を検討している。 玄関は利用者の状況により施錠することがあり家族等からも同意を得ているが、書面に残すまでには至っていない。	身体拘束ゼロへの手引きなどをもとに勉強会を行い、禁止の対象となる具体的な行為を全職員で把握するよう取り組むことを期待する。 玄関の施錠について家族等の同意書を作成することを提案する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内外の研修参加と報告を行っている 職員は自ら自覚を持って防止に努めている 普段の生活で身体だけでなく言葉の暴力（虐待）が見過ごされていないか気を配っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について、研修などで勉強する機会を持っている 成年後見制度の手続きの支援を行った		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、理解が得られるよう、十分な話し合いを行ない、契約書や同意書を取り交わしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、面会、家族会等でご家族の意見、要望をお聞きし、反映している ご家族へのアンケートを実施し、意見を聞いて反映している。利用者様は、介護相談員の訪問時に話を聞いてもらっている。 玄関に意見箱を設置している	玄関に意見箱を設置するとともに、利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等からは面会時やアンケートで意見や要望を聴くように努めている。 市から介護相談員を受け入れ、利用者や家族等から出た意見や要望を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や朝礼、個々の面接や週間報告書等で提案する機会を設け、反映させている	管理者は毎月職員会議を開催するほか、年2回、個人面談を行うなど、職員の意見や提案を聞く機会を設け、出た意見等を運営に反映させている。 管理者は職員から週間報告書を提出してもらい、気づきや問題点、反省等を汲みあげるよう努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面接や、週間報告書等で把握し、意見を聞き整備に努めている 各自に、自分の長期目標・短期目標を設定してもらい実践できるよう支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会、研修の案内を職員に提示し、希望する研修に参加できるよう調整している 研修へ行った職員は研修内容を他職員にも情報提供している 応急手当救命講習は全員が受講している また、新人には担当者が付き日常業務の中で技術指導・相談ができるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホームとイベントや会議、応急手当の講習等で交流している 研修参加等に意見交換している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にホーム見学していただいたり、体験入居していただき要望をよく聞いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にホーム見学していただき、要望をよく聞いている ご家族の希望も介護計画に反映している		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	しっかりアセスメントし、必要な支援ができるよう対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人とよくコミュニケーションをとっている 人生の先輩という事を忘れず、いろいろ教わったり、知識や経験を活かして家事や得意なことを行なっていたり、お互いに支え合いながら暮らしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で話を聞き、情報を共有している 好きな時に面会、外出等できるように支援し、遠方のご家族は居室に宿泊できる バーベキュー、花火大会など行事に自由に参加できるようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人の面会があり、一緒に外出したり家族宅へ外泊している 盆・彼岸には墓参りに出かけている 手紙のやりとりを支援している	一部の利用者は携帯電話を持参して家族等と自由に話をしてしているが、事業所の電話も使用できるよう支援している。 職員は利用者が馴染みの人と手紙のやり取りをしたり、墓参りや自宅、畑、田んぼなど馴染みの場所に行けるよう支援しているほか、地域の美容院の継続利用を支援するなど、利用者の馴染みの人や場所との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルの席を調整したり、レクリエーションや散歩、趣味活動を通して、一緒に楽しむことができるよう支援している 1階、2階を自由に行き来できる。合同で行事を行なうことも多く、1・2階の利用者様同士が交流できるよう座席等に配慮している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時々電話や訪問してくださる家族もあり、思い出話などしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	受け持ちを中心にご本人、ご家族の希望を聞き把握している 困難な場合は職員間で話し合い、本人本位に検討している	職員は利用者と日々の係わりの中で会話を通して、表情や言葉から一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。 家族等の面会時に話を聴いたり、カンファレンスで利用者本位に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族等から今までの生活環境を見聞きし記録している センター方式によるアセスメント表を利用し把握に努めている	/		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護計画に沿った介護記録を記入し、又、職員間で情報交換しながら把握に努めている バイタルサイン、食事・水分量、排泄の記録も行ない、把握に努めている			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の希望を聞き、カンファレンス等で話し合い、現状に即した介護計画を作成している			介護計画は利用者や家族等の希望を取り入れて関係者で話し合い作成するとともに、カンファレンスを行い定期的に見直している。 希望を取り入れ、介護計画にエアロバイクでのリハビリを組み入れている利用者もいる。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個人記録を記入し、申し送りや連絡帳で情報共有しながら実践している。必要に応じ、カンファレンスを行ない、計画の見直しをしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族に代わって病院の付き添いや買い物に出かける 庭に、菜園とパターゴルフ用のホールがある 雨の日でも、運動ができるようエアロバイクが置いてある		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の消防署、警察署に協力していただいている ボランティアに来てもらったり、交流センターを利用している 通院時、介護タクシーを利用している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望でかかりつけを決定している。定期的な通院のほか、病状に応じ、かかりつけの医師へ相談し適切な医療が受けられるよう支援している 協力病院の医師によるインフルエンザの予防接種をホーム内で全員受けている	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援しているほか、協力医療機関の医師や歯科医による定期的な訪問診療を受診することができ、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気になる症状や、処置内容を相談、決定する看護職員がおり、支援している		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、定期的に面会に行き、利用者の心身の状態を把握できるようにしている。病院の医師、看護師と、密に連絡をとり情報交換している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>「重度化した場合の対応にかかる指針」「看取りに関する指針」を作成し、ご家族より同意をいただいている指針については職員も理解しているが実例はない</p>	<p>重度化や看取りにおける対応指針を作成し、契約時に利用者や家族等に説明し同意を得ている。必要に応じて家族等や医師などの関係者と話し合い、重度化や終末期に向けた対応を検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当救命講習は、毎年ホーム内で消防隊員指導のもと実施しており、全員が定期的に受講している対応マニュアルを理解し、対応できるよう備えている AEDを設置している</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、総合消防訓練を実施し、地域の住民にも参加の案内をし協力をお願いをしている。毎月、自主防災訓練を行ない、定期的に研修を実施している水害ハザードマップを掲示し、避難経路を確認できるようにしている。実際に津波警報が出て避難場所へ全員避難したが、近くに住むご家族や近隣住民から手伝いの申し出がありスムーズに避難できた</p>	<p>消防署立会いのもと、年2回、夜間想定を含めた避難訓練を実施するとともに、近隣住民の参加を得ている。 水害ハザードマップを掲示し避難経路を確認できるようにしている。 毎月、自主防災訓練を行うほか、災害に備えた備蓄品を用意している。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した言葉かけや、対応をしている 個人の記録へは、他入居者様の名前をイニシャルで記載したり、記録物は外部に見えないよう保管している	職員は利用者一人ひとりを尊重した言葉かけや対応をしている。 利用者個人の記録等は事務室に保管するなど人目に付かないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人にわかりやすい言葉、説明を行い自己決定できるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何か行なうときはきちんと言葉をかけ、ご本人のペースや希望を尊重している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴準備の際、利用者様と一緒に好きな服を選び、着ていただいている 義歯のつけ忘れ、服装の乱れはさりげなくことばかけして、整えている 理容や、フェイスエステは希望を聞いて実施している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日に希望食を取り入れたり、外食や出前をとることもある調理はできるところを行っていたり味見をしていただいている。食事、片付けも職員と一緒にやっている	利用者と職員は一緒に食事をし、和やかな雰囲気の中、利用者同士から感謝の言葉が聞こえている。利用者はできる範囲で食事の後片付けを職員と一緒にやっている。誕生日には希望の食事を提供したり、外食や出前を取り入れ、食事が楽しみとなるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算した献立になっている毎月、体重測定を行ない、食事量を調整している。食事量が少ないときはおやつ時に補食を提供するなど対応している 水分量も毎日チェックし、職員が利用者の状態を把握し十分な水分の確保ができるよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、できる方には歯みがきを、また口腔ケアを介助にて実施している 口腔内の状態も随時確認している 週1回、歯科医師、衛生士による歯科検診、口腔ケアが行なわれている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンがわかるよう記録をし、介助が必要な利用者様の排泄のサインを見逃さず、トイレ誘導している 日中はできるだけ下着で対応できるようにし夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する等個々にあわせている。オムツから下着に変更できないか随時検討している	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに利用者の様子からサインを察知し、言葉かけや誘導を行いトイレで排泄できるよう支援しているほか、利用者の身体機能に応じて手を差し伸べている。 職員は利用者一人ひとりの状態に合わせた排泄の支援を行っており、利用者の状態に応じておむつの使用はできるだけ夜間のみにするなど、きめ細やかな対応をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向のある方には、乳製品を摂取していただくなど個々に合わせた対応をしている 体操、散歩など体を動かしていただくよう支援している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	隔日の入浴と、ある程度の時間帯は決めてあるが、入浴時間、順番、タイミング、湯温など、できるだけ希望に沿ってゆっくり入浴できるよう支援している	入浴は一日おきで支援しているが、風呂は毎日沸かしているので希望すれば毎日でも入浴が可能となっている。 入浴を拒む利用者には強要せず声かけを工夫し、いつでも入りたい時に入れるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠時間について記録をしており、状況に合わせて昼寝の支援をしている 消灯時間を決めていない 今までの生活習慣を把握し、自宅で使っていたベッドや畳に布団を敷いて休んでいただいている 寝具類を清潔にしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルと薬袋で内服薬の内容が確認できるようになっており、用法・用量について理解している 服薬時、後の変化について確認し、異常があるときは報告、対応している 服薬チェック表を使用し、飲み忘れや飲み間違いがないよう確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯たたみ、洗濯干し、掃除などの役割がある 散歩、将棋、パターゴルフ、神社参拝など一人一人に合わせて行なっている 敬老会では、一人一人得意な歌や踊りを披露していただいた		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、日光浴、神社参拝を日常的に行ない、季節に合わせて花見、花火、外食、家族会、カラオケなどの外出をしている 家族との外出も支援している	利用者は日常的に日光浴をしたり、近隣公園への散歩や神社参拝に出かけているほか、食材や日用品の買い物に出かけている。 職員は年間の行事計画を立て、利用者が花見や花火見物、外食、カラオケなどに出かけられるよう支援している。 利用者は家族等の協力を得て普段は行けない場所にも外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談して管理のできる利用者には少額のお金を持っていただいている ジュースを自動販売機で買ったり、神社でお賽銭をあげたりできるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	全員が家族等に年賀状を出せるよう支援している 家族や知人から手紙や絵葉書が届く		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や洗面所には季節の花を飾ったり、食堂内に季節に合わせた手作りカレンダーや日めくりカレンダーを貼っている 食堂に行事ごとの写真を掲示する BGMで懐メロなど流し、曲に合わせて一緒に歌う方もいる 冬はこたつを用意し、トイレは温風ヒーターをつけるようにしている	庭にはパターゴルフ場や自家菜園が設けられ、利用者は作業や収穫などを行い、五感の刺激を受けたり、季節の移り変わりを感じている。 職員は食堂に手作りカレンダーや日めくりカレンダーを掲示したり、季節の花や行事の写真を飾り、季節感を取り入れて利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、和室、サンルーム、玄関の椅子などそれぞれ好きな空間で過ごすことができ、利用者様同士や職員と会話をしたり、将棋等をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家具や寝具など本人の使っていたものや思い出の品を置いていたでいる 過ごしやすいように配置も本人と家族にまかせている	利用者は使い慣れた家具やテレビ、仏壇、机、椅子などを持ち込み、趣味を楽しんだりテレビを見たり、他の利用者とお茶を飲んで過ごすなど、以前の生活と変わりなく居心地の良い暮らしをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室に「ゆ」ののれんをかけている。 トイレのドアの色を変えて場所がわかるようにしているが、必要に応じ、「トイレ」と表示している 居室の扉には花の絵がそれぞれ付いており自分の居室を確認している。 廊下の手すりの使用で自立した生活ができるようにしている 居室、トイレ等に呼び出しボタンがある		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム久慈浜

作成日 平成23年4月25日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	利用者様の離設があり、玄関の施錠を行なっている	身体拘束をしないケアの取り組みの強化	・職員の勉強会の実施 ・ご家族への施錠についての説明と同意書の作成	平成23年10月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。